新日軽

取付説明書番号 ME-1797

改－2

# スリットラインシリーズ
# パーゴラスタイル 取付説明書

●この度は、新日軽商品をご採用いただき誠にありがとうございます。
商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この取付説明書をよくお読みの上、作業を行ってください。
●本説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。
施工にあたっては必ずお守りください。
●施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
●この取付説明書は施工後必ず施主様へお渡しください。

**施工時の注意事項**　施工にあたっては次の点をご注意ください。

●モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので、工事中に商品に付着しないようご注意ください。
●施工時に商品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、アルミ表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
●腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
●改造・変更をしないでください。

この説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

| 絵表示 | 意味 | 絵表示 | ご使用上の注意とお願い |
|---|---|---|---|
| ⚠注意 | この表示を無視して誤った取扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。 | ❗ | 「必ず行っていただくこと」を示しています。 |

⚠注意
●各ボルト・ビス類は、確実に締付けてください。
●無理にボルト・ビスを締付けないでください。
破損の原因となります。

●本商品は、下記のスリットラインシリーズ商品に取付けることができます。
●本体の取付説明書を合わせて参照してください。
・「フェンススタイル（たて格子）」 [ME-1793]
・「フェンススタイル（DPGパネル）」 [ME-1793]
・「フェンススタイル（よこ格子）」 [ME-1903]

## ■スリットラインシリーズ

| 番号 | 取付説明書名称 | 説明書の梱包先 | 番号 | 取付説明書名称 | 説明書の梱包先 |
|---|---|---|---|---|---|
| ME-1793 | フェンススタイル（たて格子）<br>フェンススタイル（DPGパネル＋たて格子/よこ格子）<br>ウォールスタイル壁内タイプ（よこ格子） | 胴縁エンド | ME-1803 | 飾り門柱 | 飾り門柱 |
| ME-1903 | フェンススタイル・ウォールスタイル壁内タイプ（よこ格子） | よこアタッチセット | ME-1804 | LB1型・2型照明 | LB型照明用たて格子 |
| ME-1795 | 直角・自在コーナー（たて格子） | 直角コーナー部品<br>角度自在コーナー部品 | ME-1805 | スリットライン専用内蔵照明 | 内蔵照明用たて格子 |
| ME-1796 | 直角・自在コーナー（よこ格子） | 直角コーナー部品<br>角度自在コーナー部品 | ME-1808 | 接続金具A | 接続金具A |
| ME-1797 | パーゴラスタイル | 垂木掛けエンドキャップ | ME-1906 | ビームスタイル（たて格子） | ビームスタイルたて柱セット |
| ME-1799 | ウォールスタイル持ち出しタイプ（たて格子） | 単体部品セット | ME-1907 | ビームスタイル（よこ格子） | ビームスタイルよこ柱セット |
| ME-1800 | ウォールスタイル持ち出しタイプ（よこ格子） | 躯体取付セット(端部) | ME-1908 | ビームスタイル・テラスのせ納まり | テラス接続金具 |
| ME-1801 | アーチスタイル | アーチスタイル柱セット | ME-1909 | フェンススタイル（たて格子）・R納まり | Rタイプ胴縁 |
| ME-1802 | スリットライン門扉 | 門柱 | ME-1806 | フェンススタイル（たて格子）・W40タイプ | 壁内取付金具 |

# もくじ


梱包明細 ..... 2
納まり図 ..... 3
1．施工前の作業 ..... 6
　1－1たて格子納まりの場合 ..... 6
　　1-1-1柱の下孔加工と柱部品の取付け ..... 6
　　1-1-2格子の下孔加工 ..... 6
　1－2よこ格子納まりの場合 ..... 7
　1－3DPG納まりの場合 ..... 8
2．フェンスの設置 ..... 8
　2－1たて格子納まりの場合 ..... 8
　　2-1-1H2500以下の場合 ..... 8
　　2-1-2H3000以上の場合 ..... 9
　2－2よこ格子納まりの場合 ..... 9
　　2-2-1H2000/2500の場合 ..... 9
　　2-2-2H3000の場合 ..... 10
　2－3DPGパネル納まりの場合 ..... 11
3．垂木掛けの取付け ..... 11
　3－1垂木掛けの切詰め ..... 11
　3－2垂木掛けの下孔加工 ..... 11
　3－3垂木掛けの取付け ..... 12
　　3-3-1垂木掛けの取付け ..... 12
　　3-3-2垂木掛けの連結 ..... 12
4．垂木の取付け ..... 13
　4－1垂木の切詰め（※出巾を調整する場合） ..... 13
　4－2垂木部品の取付け ..... 13
　4－3垂木の取付け ..... 14
　　4-3-1取付けボルトの挿入 ..... 14
　　4-3-2たて格子納まり・DPG納まりの場合 ..... 14
　　4-3-3よこ格子納まりの場合 ..... 14
　4－4垂木掛けキャップの取付け ..... 14
5．格子・胴縁・胴縁カバーアタッチメント部品の取付け ..... 15
　5－1たて格子納まりの場合 ..... 15
　5－2よこ格子納まりの場合 ..... 15
　5－3DPGパネル納まりの場合 ..... 16
施工工事店様、販売店様へのお願い ..... 16


# 梱包明細

●施工前に、部材数量および部品数量を確認してください。また、品質に支障のある損傷が無いか確認してください。
●取付説明書に記載している部材・部品（ビス含）以外は使用しないでください。

フェンス部分については、スリットライン本体の取付説明書を参照してください。
→「たて格子、DPGパネル」の場合：[ME-1793]を参照 /「よこ格子」の場合：[ME-1903]を参照

| 梱包名称 | | 梱包内容　※表内の（ ）は個数を表しています。 |
|---|---|---|
| 縦格子柱 | H3500 | 柱（1） |
| | H4000 | 柱（1） |
| 垂木 | 3本入り | 垂木（3） |
| | 2本入り | 垂木（2） |
| 垂木掛け | | 垂木掛け（1） |
| コーチスクリュー※1 | 4個入り | φ6コーチスクリュー（4）・M6用平座金（4） |
| プラグボルト※2 | 4個入り | M6プラグボルト（4） |

※1：躯体が木造の場合に使用します。※2：躯体がRC造の場合に使用します。

●別売り品

| 梱包名称 | | 梱包内容　※表内の（ ）は個数を表しています。 |
|---|---|---|
| 垂木掛けキャップ | 2個入り | 垂木掛けキャップ（左・右各1）<br>φ4×16トラスタッピン3種（2）・取付説明書[ME-1797]（1） |
| パーゴラ部品箱 | 3個入り | パーゴラジョイント（3）・十字孔付六角ボルト（24）・M5×12皿小ネジ（12）<br>垂木受け金具（左・右各3）・φ4×12トラスタッピン3種（15）<br>M8六角ボルト（6）・M8用ナット（6）・M8用平座金（6） |
| | 2個入り | パーゴラジョイント（2）・十字孔付六角ボルト（16）・M5×12皿小ネジ（8）<br>垂木受け金具（左・右各2）<br>φ4×12トラスタッピン3種（10）・M8六角ボルト（4）・M8用ナット（4）・M8用平座金（4） |

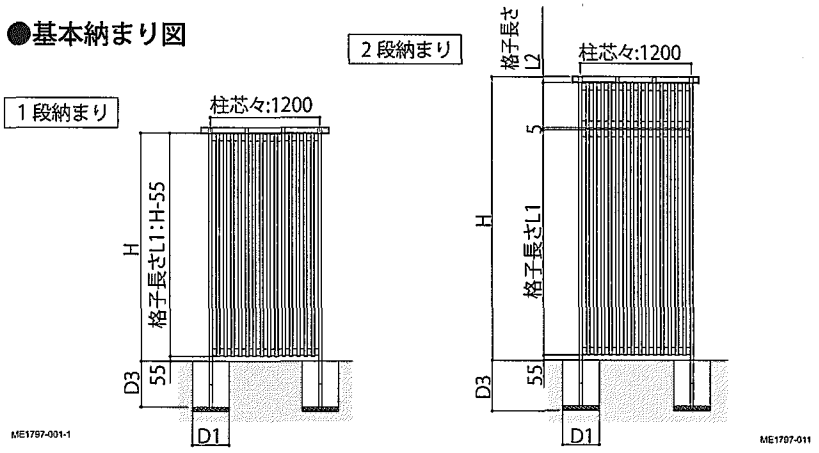
# 納まり図

●施工前に必ず確認してください。

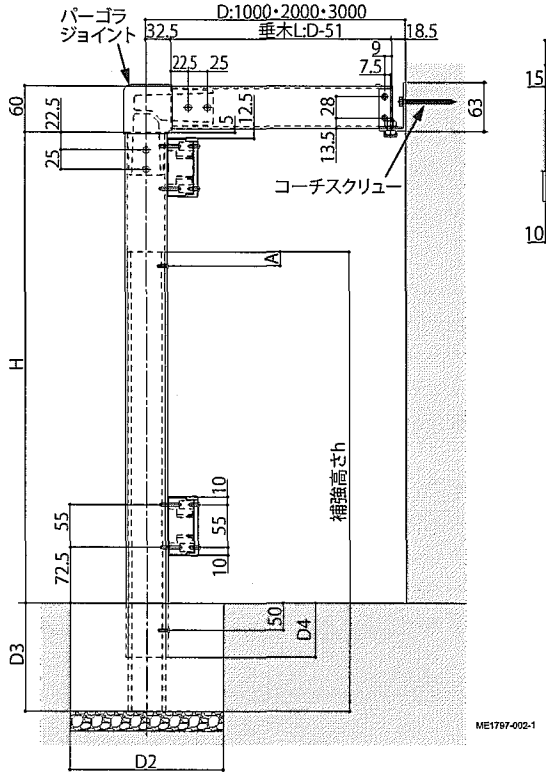
## たて格子納まり

●「35 × 55 格子」と組合わせることができます。
●フェンス本体の施工については、「フェンススタイル（たて格子）」の取付説明書 [ME-1793] を合わせて参照してください。

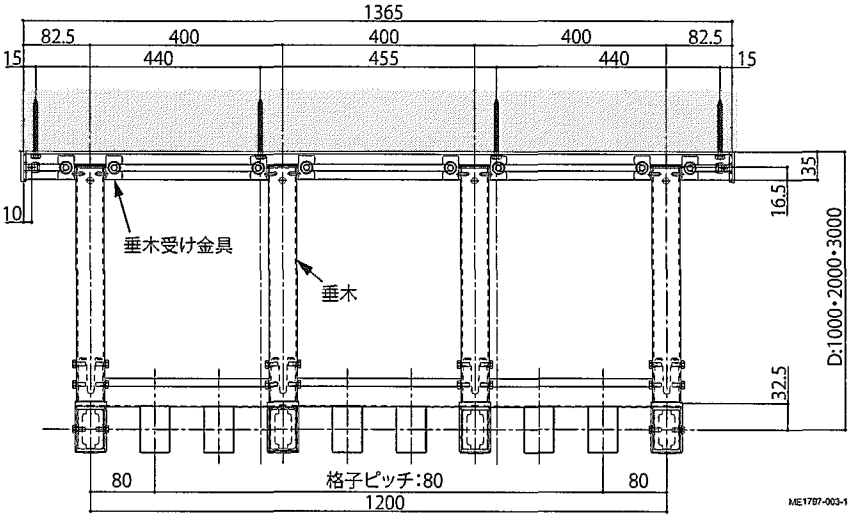
### ●基本納まり図




### ●縦断面図




### ●横断面図




### ●寸法一覧表

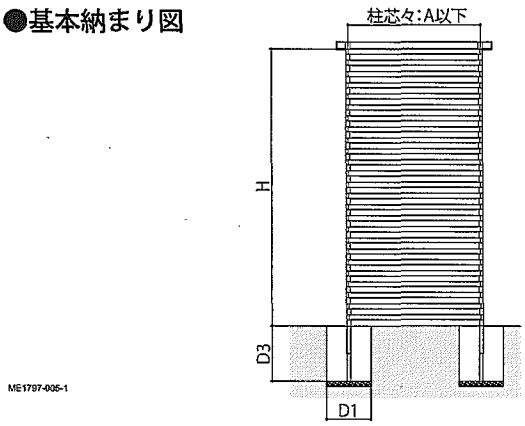
(mm)

| | 呼称サイズ | H | 格子 L1 | 格子 L2 | 補強高さ h | A | 見付 D1 | 見込 D2 | 基礎深さ D3 | アルミ材埋込長さ D4 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1段納まり | H2000 | 2000 | 1945 | — | — | — | 400 | 400 | 400 | 400 |
| | H2500 | 2500 | 2445 | — | 1500 | 22.5 | 400 | 400 | 500 | 250 |
| 2段納まり | H3000 | 3000 | 2445 | 495 | 2000 | 45 | 500 | 500 | 500 | 250 |
| | H3500 | 3445 | 1945 | 1445 | 2000 | 45 | 500 | 500 | 500 | 250 |
| | H4000 | 3945 | 1945 | 1945 | 2000 | 45 | 500 | 500 | 500 | 250 |

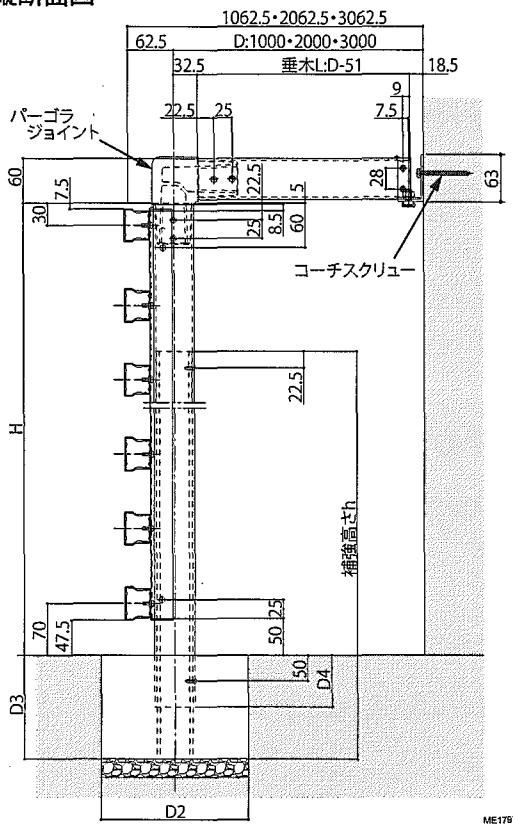
## よこ格子納まり

- H3000 の場合、柱芯々寸法は 600mm 以下となります。
- H3000 の場合、アタッチメント 2 段納まりになります。（※ H1500 のアタッチメントを 2 段取付けます。）
- フェンス本体の施工については、「フェンススタイル（よこ格子）」の取付説明書 [ME-1903] を合わせて参照してください。

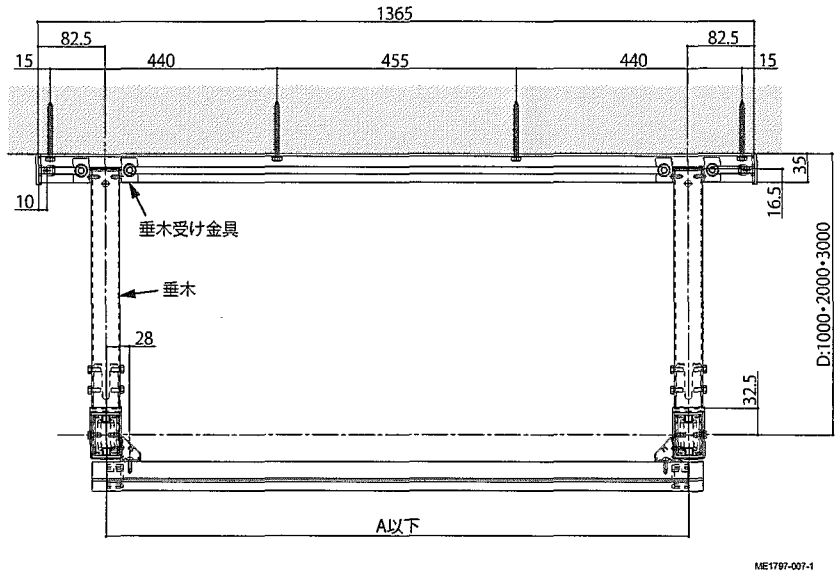
### ●基本納まり図




### ●縦断面図




### ●横断面図




### ●寸法一覧表

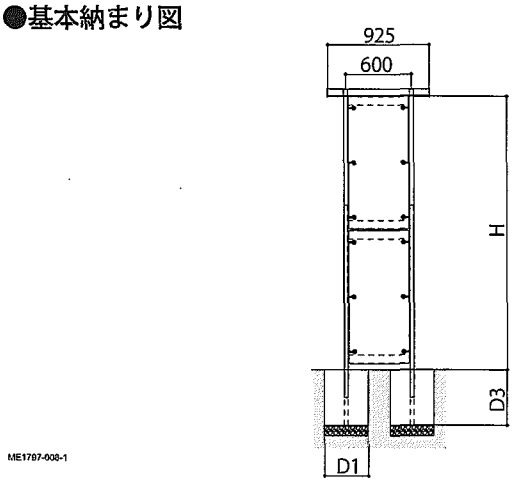
(mm)

| 呼称サイズ | H | 補強高さ h | 見付 D1 | 見込 D2 | 基礎深さ D3 | アルミ材埋込長さ D4 | 柱芯々 A |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| H2000 | 2000 | — | 400 | 400 | 400 | 400 | 1200 |
| H2500 | 2500 | 1500 | 400 | 400 | 500 | 250 | 1200 |
| H3000 | 3000 | 2000 | 500 | 500 | 500 | 250 | 600 |

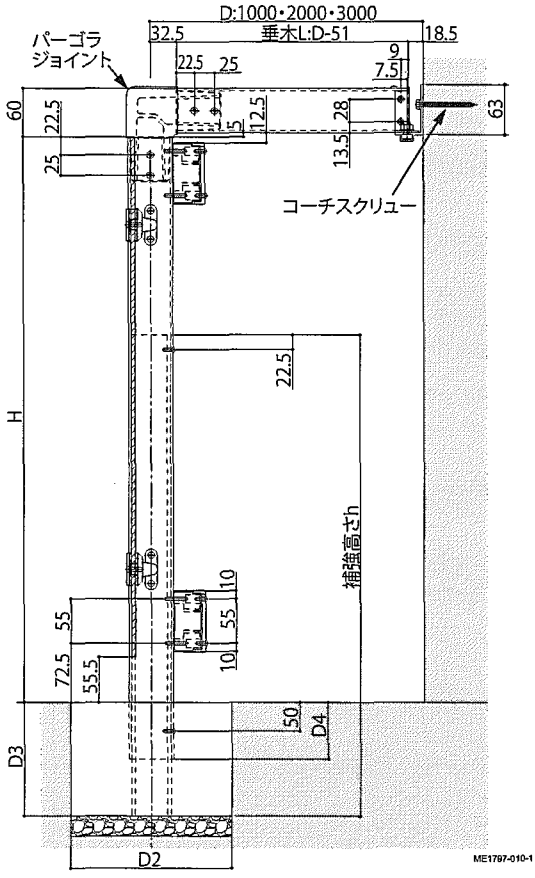
## DPG パネル納まり

フェンス本体の施工については、「フェンススタイル（たて格子）」の取付説明書 [ME-1793] を合わせて参照してください。

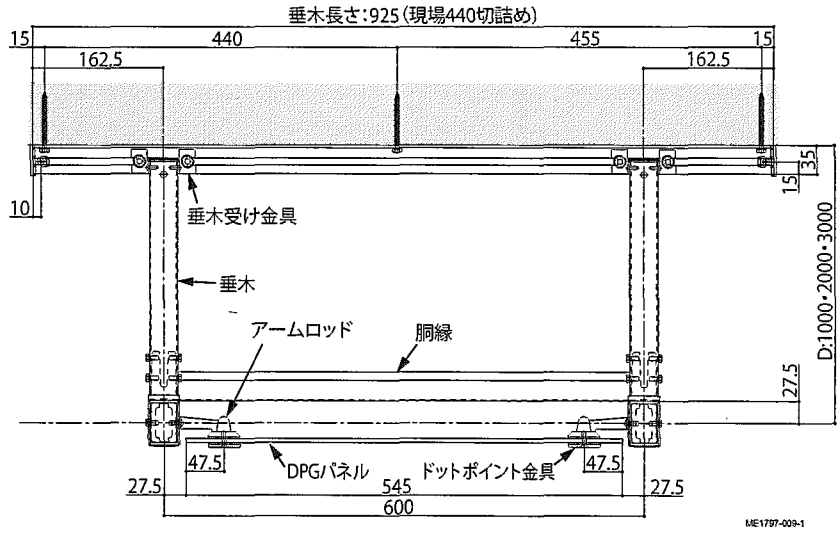
### ●基本納まり図




### ●縦断面図




### ●横断面図




### ●寸法一覧表

(mm)

| 呼称サイズ | H | 補強高さ h | 見付 D1 | 見込 D2 | 基礎深さ D3 | アルミ材埋込長さ D4 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| H2000 | 2000 | — | 400 | 400 | 400 | 400 |
| H2500 | 2500 | 1500 | 400 | 400 | 500 | 250 |

# 1 施工前の作業

●各納まりごとの手順で行ってください。

## 1－1 たて格子納まりの場合

**部品の本締めは、後で胴縁を取付けてから行ってください。**
※先に本締めしてしまうと、胴縁を取付けられないことがあります。

### 1-1-1 柱の下孔加工と柱部品の取付け

①縦格子キャップを柱から取外してください。

**取外したキャップは、後で使用しますので無くさないでください。**
※キャップは、後工程「4-2. 垂木部品の取付け」で使用します。

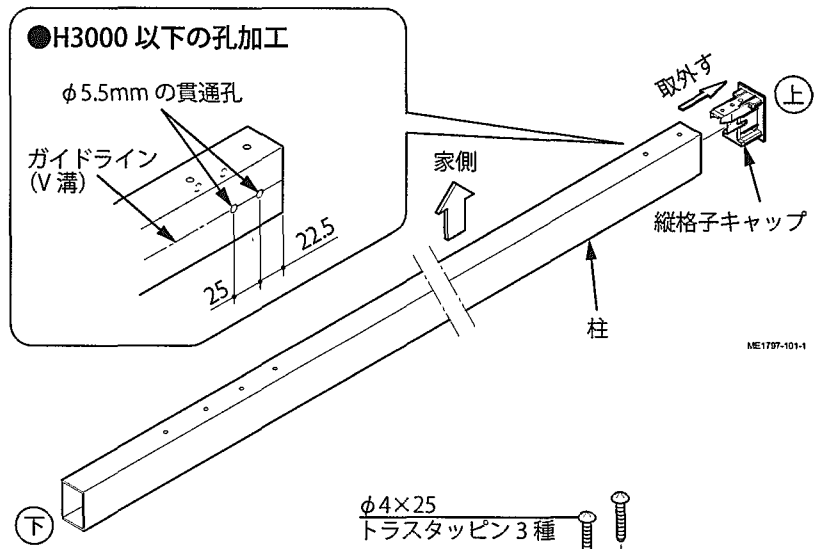
② H3000 以下の場合は、パーゴラ取付用の下孔（φ 5.5mm）を柱のガイドライン（V 溝）上にあけてください。

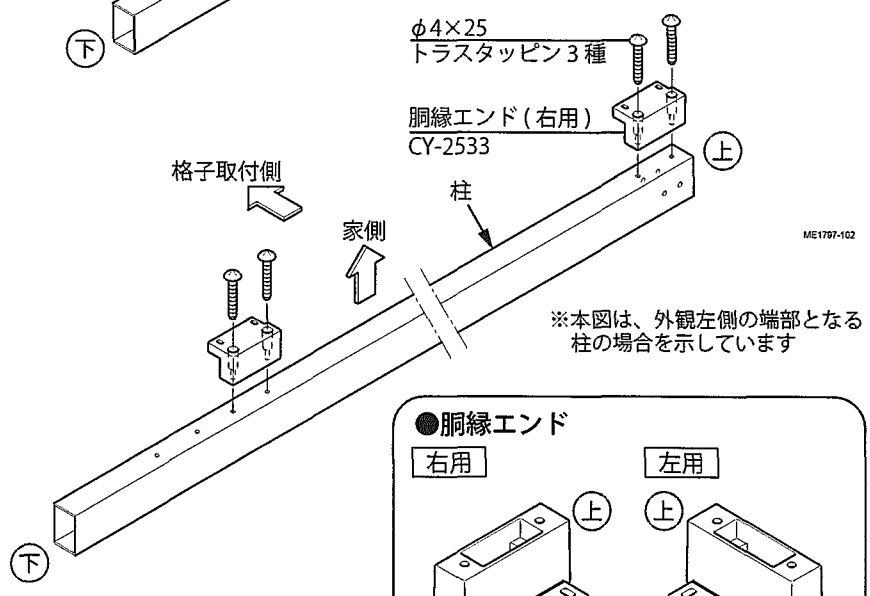
**H3500 以上の柱には、下孔加工がされています。**

③胴縁エンドを柱に仮止めしてください。

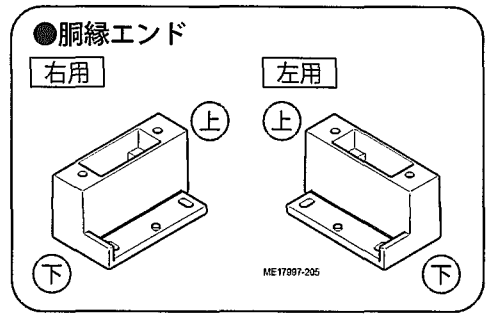
**胴縁エンドには、左・右および上・下の区別があります。**

**胴縁を連結する場合には、胴縁ジョイント部品を取付けてください。**




※本図は、外観左側の端部となる柱の場合を示しています



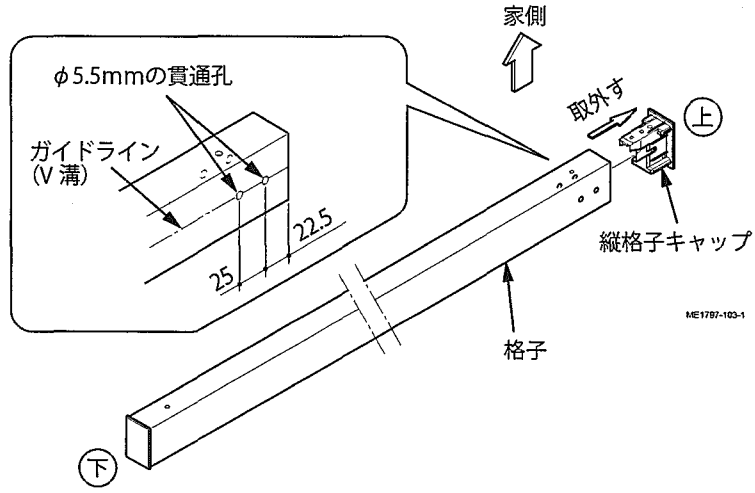

### 1-1-2 格子の下孔加工

**柱芯々寸法が 1200 の場合は、左・右の柱より 5 本目となる格子（2 本）に下孔加工を行ってください。**

①垂木の取付位置となる格子の縦格子キャップを取外してください。

**取外したキャップは、後で使用しますので無くさないでください。**
※キャップは、後工程「4-2. 垂木部品の取付け」で使用します。

②パーゴラ取付用の下孔（φ 5.5mm）を、垂木の取付位置となる格子のガイドライン（V 溝）上にあけてください。



## 1－2 よこ格子納まりの場合

格子用アタッチメントは反転して左右を使い分けてください。

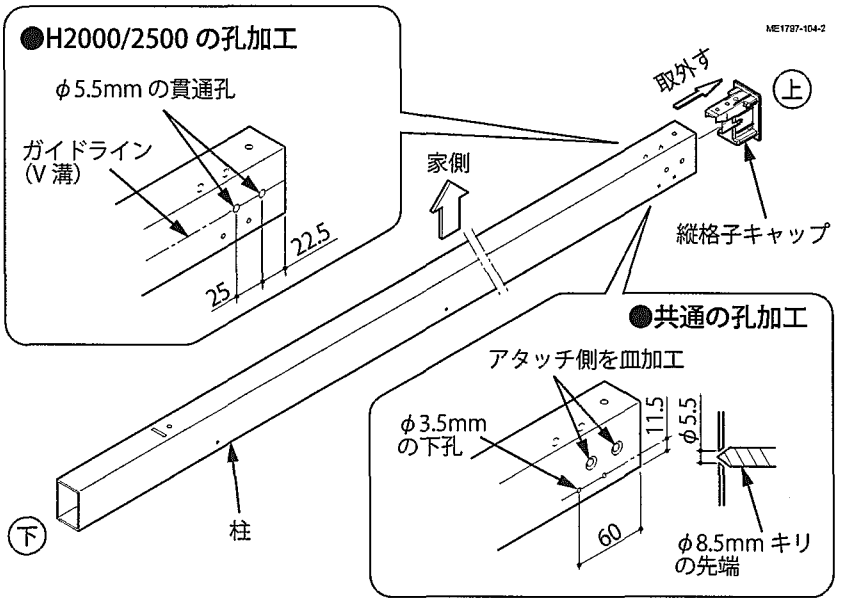
①縦格子キャップを柱から取外してください。

**取外したキャップは、後で使用しますので無くさないでください。**
※キャップは、後工程「4-2. 垂木部品の取付け」で使用します。

② H2000/2500 の場合は、パーゴラ取付用の下孔（φ 5.5mm）を柱のガイドライン（V 溝）上にあけてください。

③パーゴラ取付用の下孔に、皿加工を行ってください。

④柱の上端より 60mm の位置に、φ 3.5mm の下孔をあけてください。




### H2000/2500 の場合

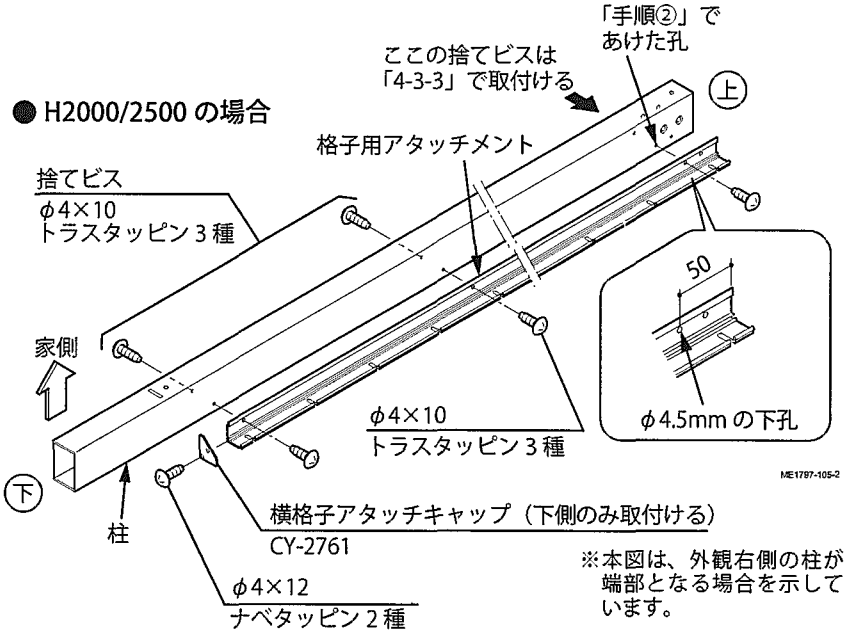
⑤格子用アタッチメントにφ 4.5mm の下孔をあけてください。

⑥格子用アタッチメントおよび下側のアタッチキャップを取付けてください。

**柱が中間部となる場合は、柱の両側に格子用アタッチメントを取付けてください。**

**上側のアタッチキャップは後工程で取付けます。**（15 ページ参照）

⑦使用しない孔に捨てビスを取付けてください。（柱が格子の連結部になる場合は不要）




### H3000 の場合

**H3000 の場合は、アタッチメント 2 段納まりになります。**
※ H1500 アタッチメント 2 本使用

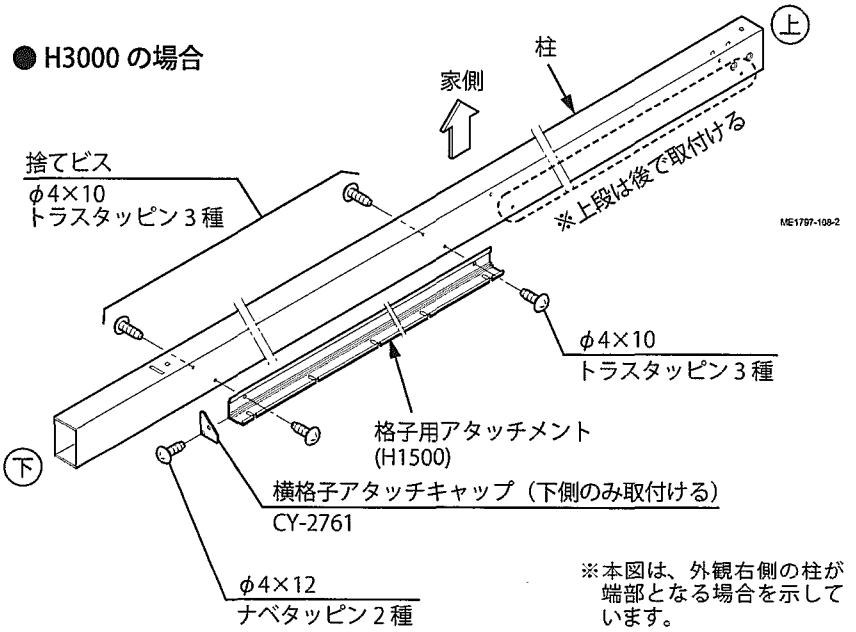
**ここでは、下段のアタッチメントを取付けてください。上段の取付は、下段の格子の取付後に行います。**

⑤下段の格子用アタッチメントおよび下側のアタッチキャップを取付けてください。

**柱が中間部となる場合は、柱の両側に格子用アタッチメントを取付けてください。**

**上側のアタッチキャップは後工程で取付けます。**（10 ページ参照）

⑥使用しない孔に捨てビスを取付けてください。（柱が格子の連結部になる場合は不要）



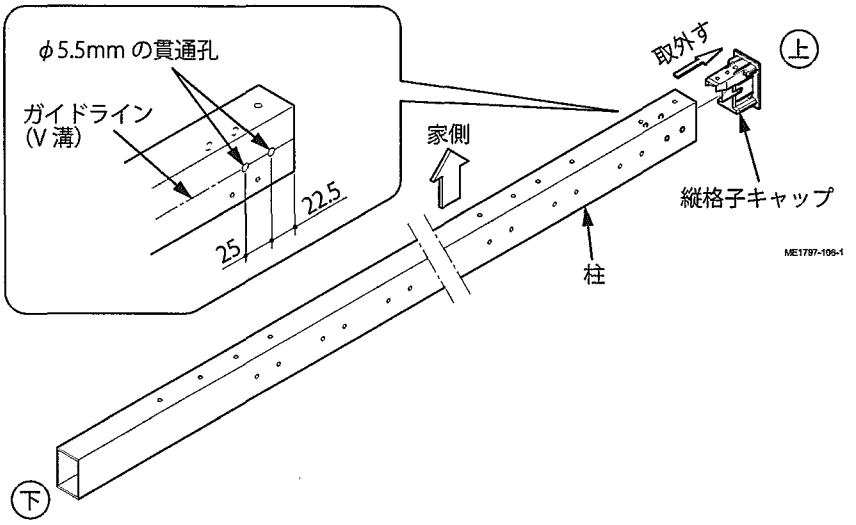
## 1－3 DPG 納まりの場合

①縦格子キャップを柱から取外してください。

> **取外したキャップは、後で使用しますので無くさないでください。**
> ※キャップは、後工程「4-2. 垂木部品の取付け」で使用します。

②パーゴラ取付用の下孔（φ 5.5mm）を柱のガイドライン（V 溝）上にあけてください。

③ [ME-1793] の P.17 を参照して、柱部品を柱に取付けてください。




# 2 フェンスの設置

●各納まりごとの手順で行ってください。

> フェンス部分については、「納まり図」および「スリットライン本体」の取付説明書を参照して行ってください。
> ・たて格子納まりの場合　[ME-1793] を参照
> ・よこ格子納まりの場合　[ME-1903] を参照
> ・DPG パネル納まりの場合[ME-1793] を参照

## 2－1 たて格子納まりの場合

### 2-1-1 H2500 以下の場合

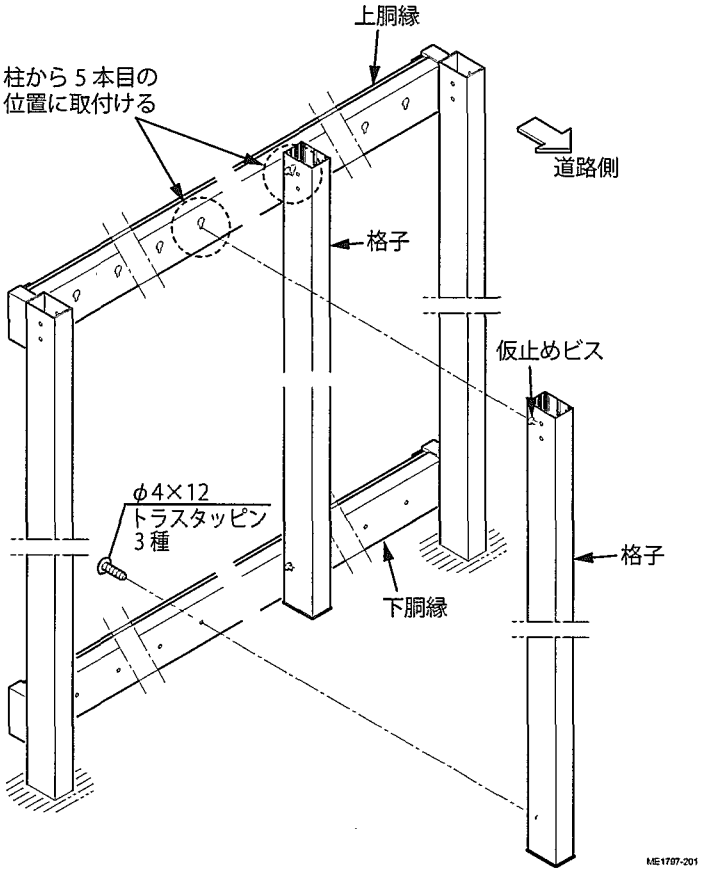
①「納まり図」で寸法を確認し、柱を設置してください。

> **躯体からフェンスまでの出巾に注意してください。**
> ※フェンスと躯体の距離が 1000、2000、3000 以外の場合は、「4-1」を参照して、垂木の切詰めを行ってください。

② [ME-1793] を参照して、上・下胴縁を柱に取付けてください。

③「1-1」でパーゴラ取付用に下孔加工をした格子 2 本を、胴縁に取付けてください。

> **柱芯々寸法が 1200 の場合は、柱より 5 本目の位置（2 ヶ所）に格子を取付けてください。**



## 2-1-2 H3000 以上の場合

①「納まり図」で寸法を確認し、柱を設置してください。

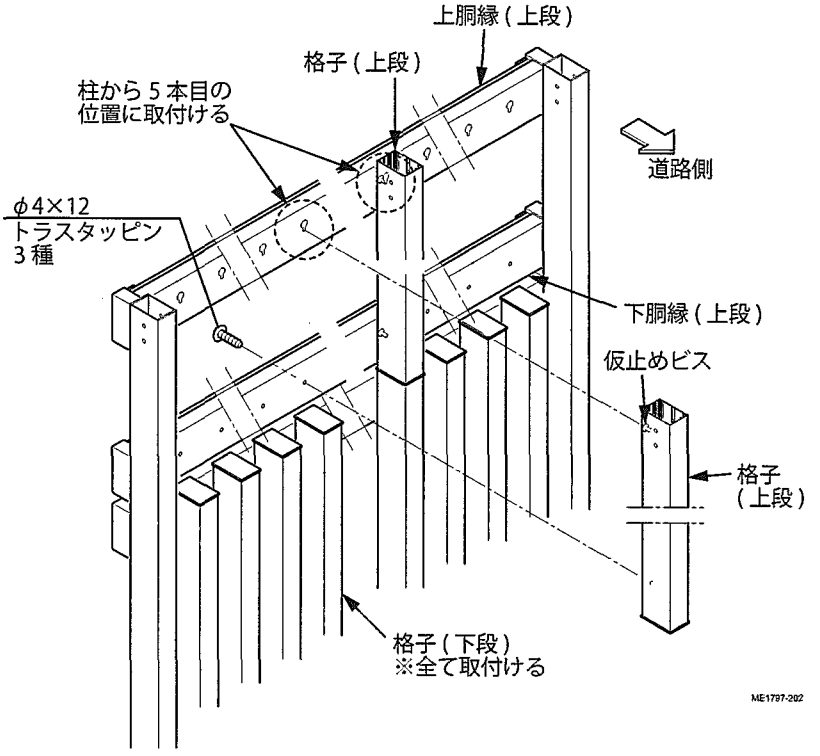
> **躯体からフェンスまでの出巾に注意してください。**
> ※フェンスと躯体の距離が 1000、2000、3000 以外の場合は、「4-1」を参照して、垂木の切詰めを行ってください。

② [ME-1793] を参照して、上・下胴縁を柱に取付けてください。

③下段の格子を全て胴縁に取付けてください。

④上段の格子のうち、「1-1」でパーゴラ取付用に下孔加工をした 2 本を胴縁に取付けてください。

> **柱芯々寸法が 1200 の場合は、柱より 5 本目の位置（2 ヶ所）に格子を取付けてください。**



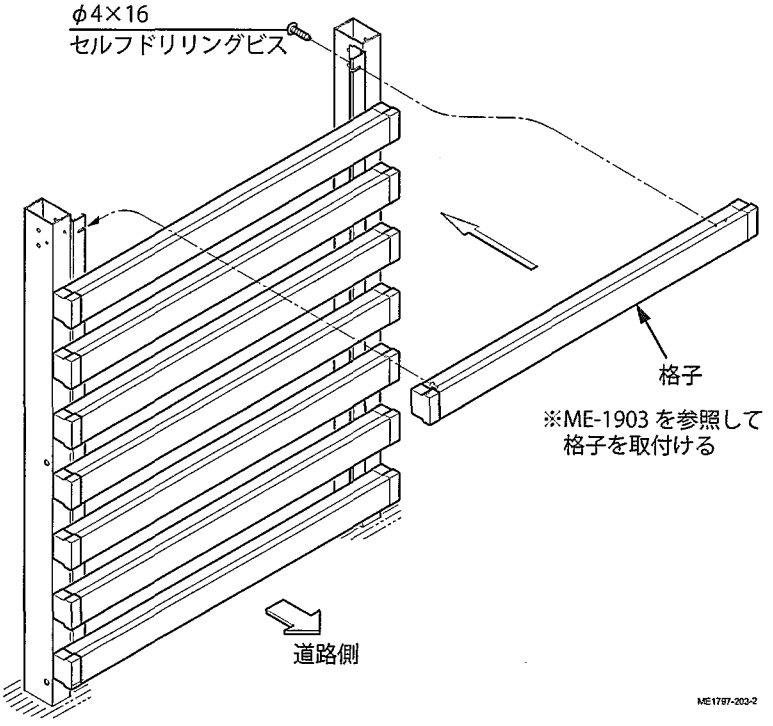

# 2－2 よこ格子納まりの場合

## 2-2-1 H2000/2500 の場合

①「納まり図」で寸法を確認し、柱を設置してください。

> **躯体からフェンスまでの出巾に注意してください。**
> ※フェンスと躯体の距離が 1000、2000、3000 以外の場合は、「4-1」を参照して、垂木の切詰めを行ってください。

② [ME-1903] を参照して、格子を柱に取付けてください。



## 2-2-2 H3000の場合

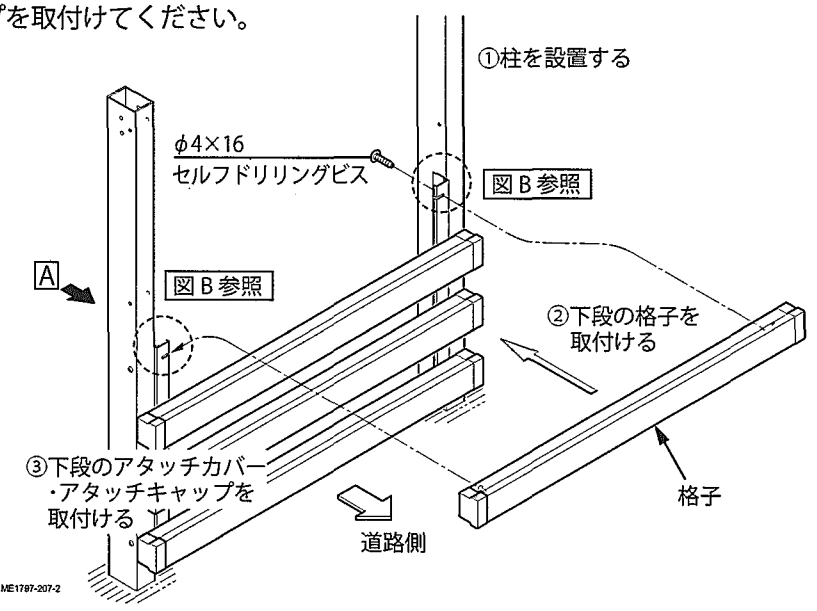
**必ず、「下段の格子」→「上段のアタッチメント」→「上段の格子」の順に施工してください。**

**躯体からフェンスまでの出巾に注意してください。**
※フェンスと躯体の距離が1000、2000、3000以外の場合は、「4-1」を参照して、垂木の切詰めを行ってください。

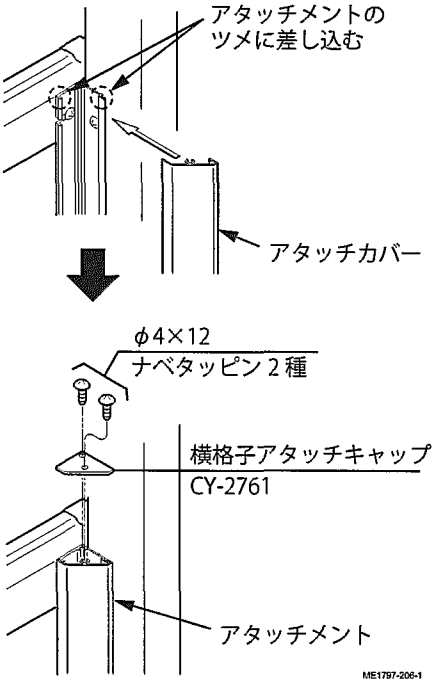
①「納まり図」で寸法を確認し、柱を設置してください。

②[ME-1903]を参照して、下段の格子を取付けてください。

③下段のアタッチカバー、アタッチキャップを取付けてください。




●図B：下段への取付け
（Aから見る）

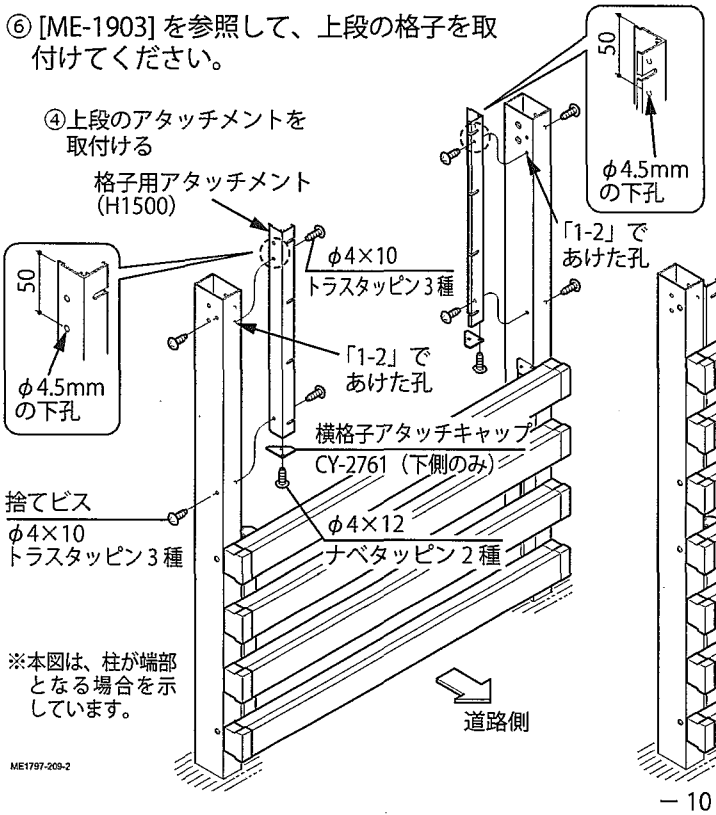


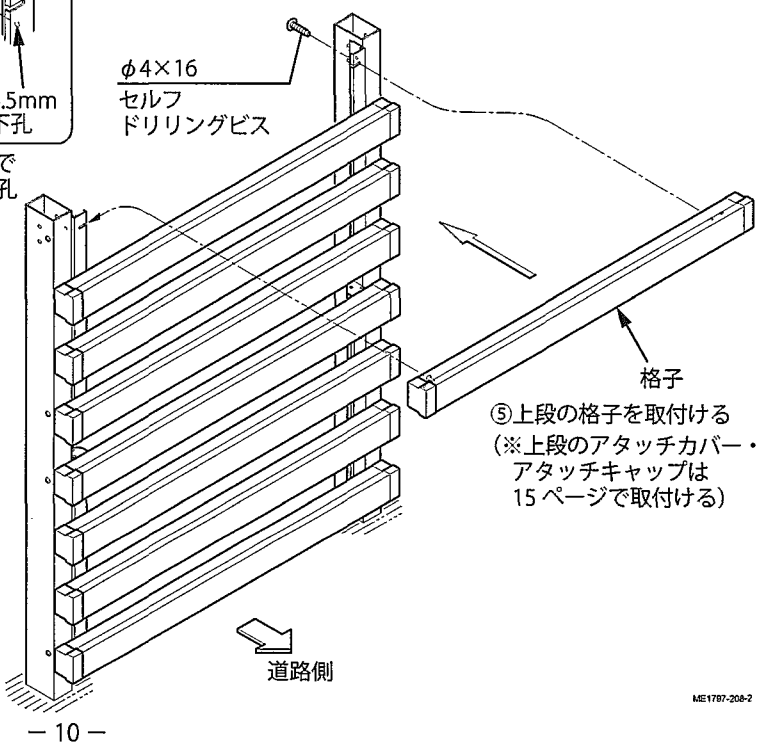

④上段の格子用アタッチメントおよび下側のアタッチキャップを取付けてください。

⑤使用しない孔に捨てビスを取付けてください。（柱が格子の連結部になる場合は不要）

⑥[ME-1903]を参照して、上段の格子を取付けてください。

**上段のアタッチカバー、上側のアタッチキャップは後工程で取付けます。**
（15ページ参照）



## 2－3 DPGパネル納まりの場合

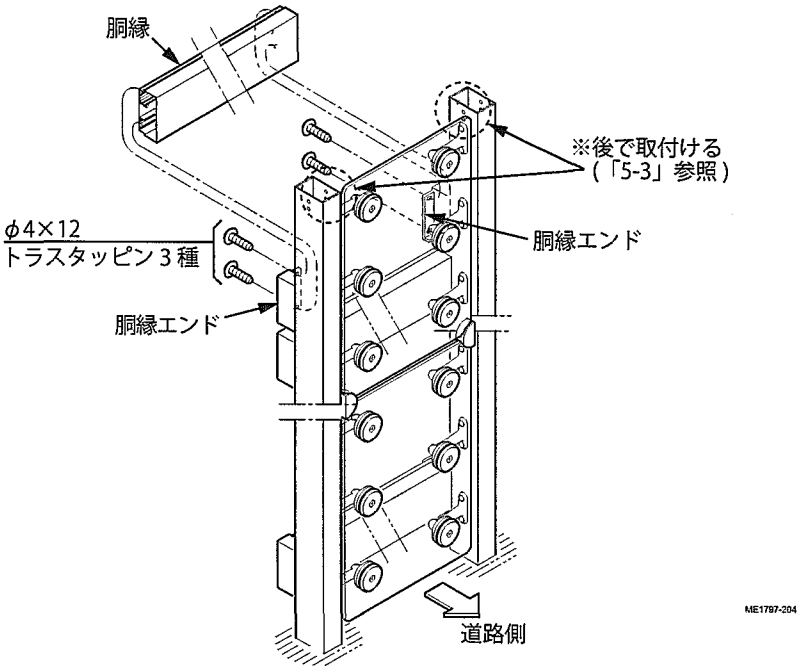
最上段の胴縁の取付けまでは、「フェンススタイル（DPGパネル）」と同じ手順です。

①「納まり図」で寸法を確認し、柱を設置してください。

**躯体からフェンスまでの出巾に注意してください。**
※フェンスと躯体の距離が1000、2000、3000以外の場合は、「4-1」を参照して、垂木の切詰めを行ってください。

②[ME-1793]を参照して、DPGパネルおよび胴縁を取付けてください。

**ここでは、最上段の胴縁を取付けないでください。**
※最上段の胴縁は、後工程「5-3」で取付けます。




# 3 垂木掛けの取付け

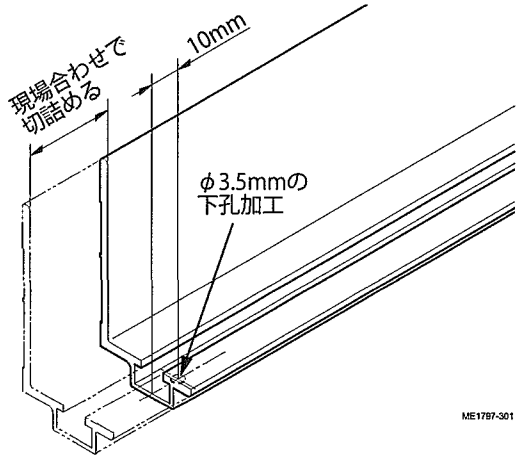
## 3－1 垂木掛けの切詰め

DPGパネル納まりの場合、垂木掛けはDPGフェンスより長くなっています。現場に合わせて切詰めてください。

たて格子納まり・よこ格子納まりの場合、現場の状況に応じて間口を狭めてください。

①現場合わせで、垂木掛けを必要な長さに切断し、φ3.5mmの下孔をあけてください。

「フェンススタイル（DPGパネル）」と「フェンススタイル（たて格子・よこ格子）」を連結する場合は、DPGフェンス側の垂木掛けを切詰めてください。




## 3－2 垂木掛けの下孔加工

①躯体側に応じて取付位置を決め、垂木掛けにφ6.5mmの下孔加工を行ってください。

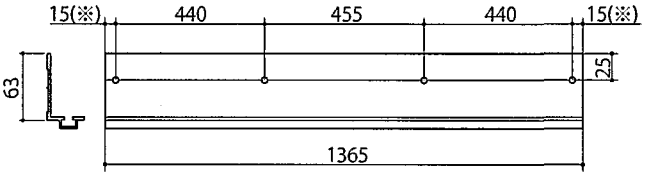
- たて格子・よこ格子納まりの場合は、下孔加工を4ヶ所行ってください。
- DPGパネル納まりの場合は、下孔加工を2ヶ所以上行ってください。

垂木掛けを連結する場合は、連結側となる部材端部から20mm以上の位置に下孔加工を行ってください。
※20mm未満だと、垂木掛けの取付け時に、躯体が割れる恐れがあります。（次ページ「3-3-2」参照）

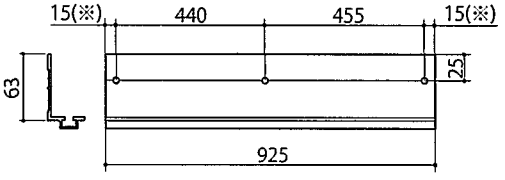
●参考寸法

ME1797-303-1

たて格子納まり・よこ格子納まりの場合




DPGパネル納まりの場合




（※）：垂木掛けを連結する場合は、連結側となる部材端部から20mm以上の位置に下孔加工を行ってください。（次ページ参照）

# 3－3 垂木掛けの取付け

## 3-3-1 垂木掛けの取付け

躯体の材質によって、取付部品が異なりますので注意してください。
・木造　　：コーチスクリューを使用
・RC 造　　：プラグボルトを使用

①「納まり図」および下表で垂木掛けの取付位置を確認してください。

●寸法表　(mm)

| 呼称サイズ | 柱高さ H | 取付高さ h |
|---|---|---|
| H2000 | 2000 | 2040 |
| H2500 | 2500 | 2540 |
| H3000 | 3000 | 3040 |
| H3500 | 3445 | 3485 |
| H4000 | 3945 | 3985 |

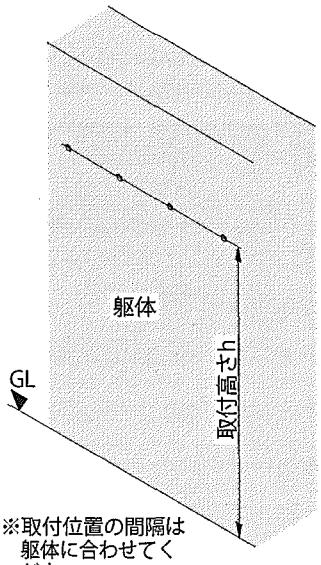
②躯体の材質が RC 造の場合は、躯体にプラグボルトを取付けてください。

③垂木掛けを躯体に取付けてください。

躯体に十分な強度があることを確認してください。

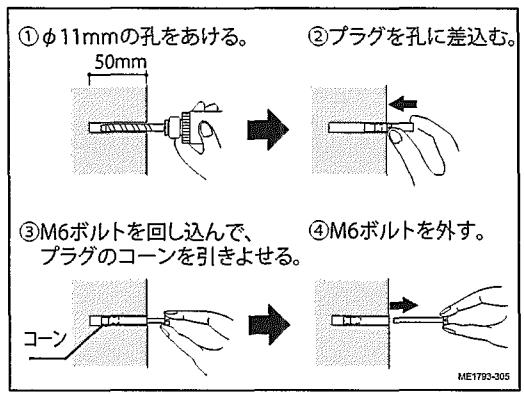
●たて格子納まり・よこ格子納まりの場合は、垂木掛けを 4 ヶ所ビス止めしてください。
● DPG パネル納まりの場合は、垂木掛けを 2 ヶ所以上ビス止めしてください。

●取付位置



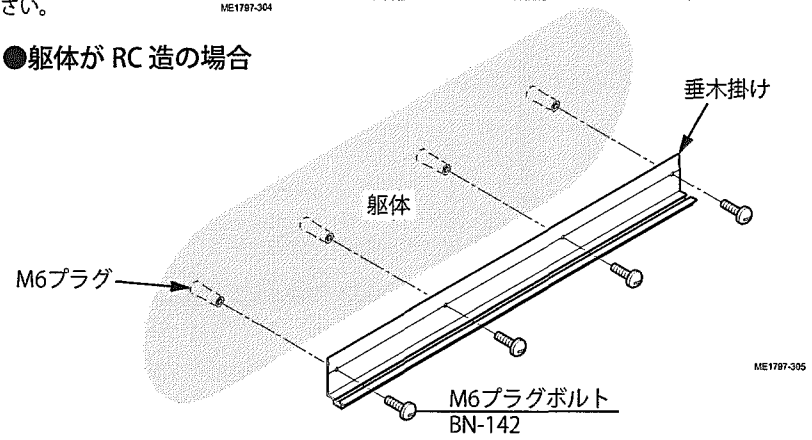

※取付位置の間隔は躯体に合わせてください。

●プラグボルトの施工手順

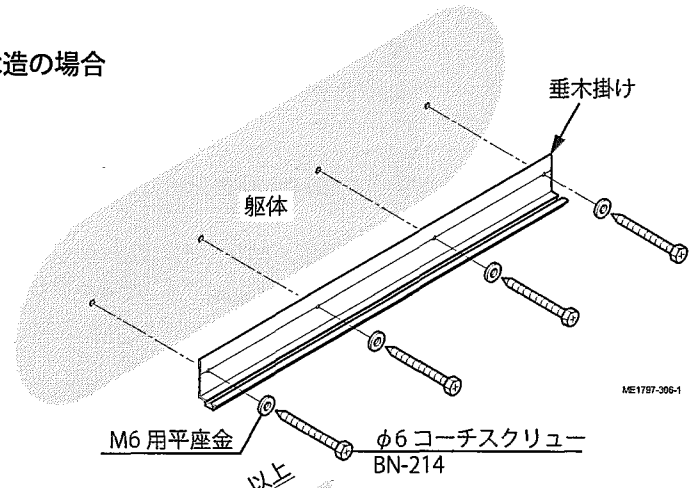



壁面がタイル仕上げの場合は、専用のドリルキリを使用してください。
※使用しないと、壁面にひび割れが起こる原因となります。

●躯体が RC 造の場合




●躯体が木造の場合

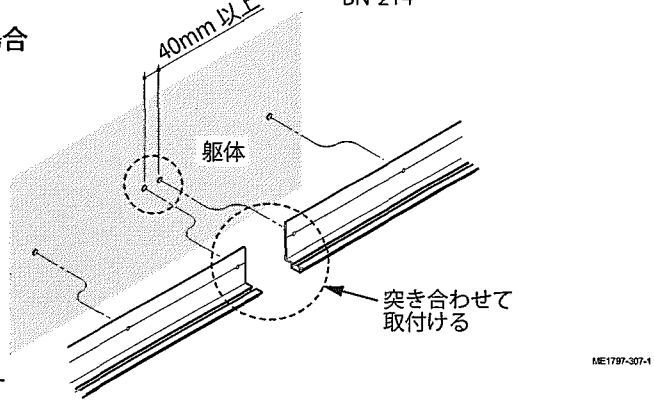



## 3-3-2 垂木掛けの連結

①2 スパン以上連結する場合は、垂木掛けを突き合わせて躯体に取付けてください。

突き合わせ部分のコーチスクリューまたはプラグボルトの間隔は、40mm 以上あけてください。
※間隔が狭いと、躯体が割れる恐れがあります。

●連結する場合



# 4 垂木の取付け

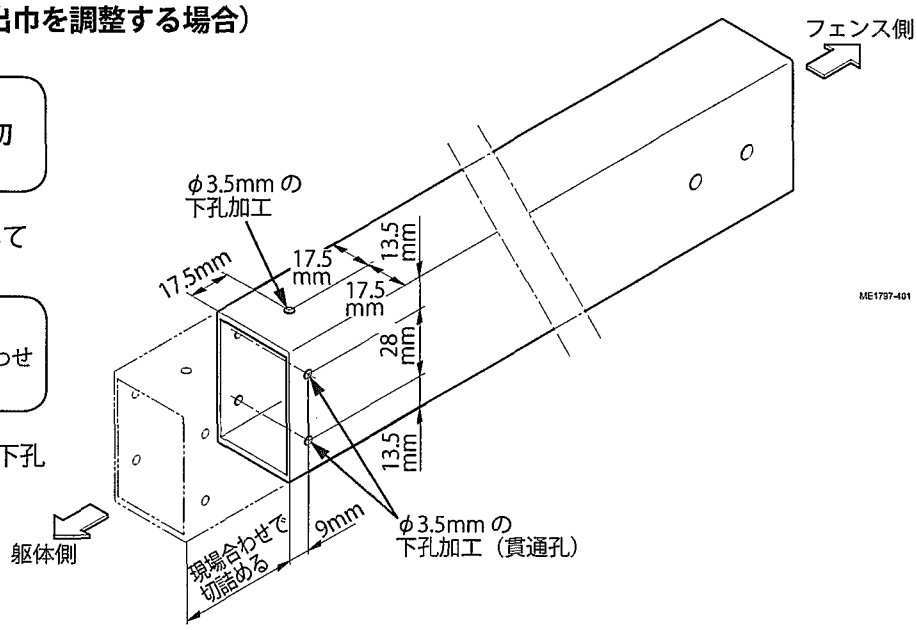
## 4－1 垂木の切詰め（※出巾を調整する場合）

出巾が 1000mm・2000m・3000mm 以外の場合は、垂木を切詰めてください。

①現場合わせで、垂木の躯体側を切断してください。

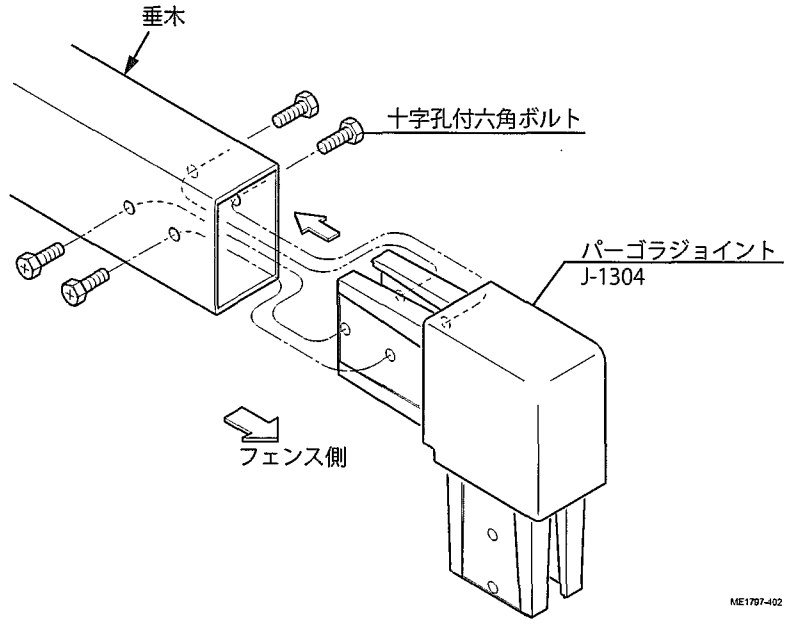
垂木の寸法＝出巾 -51mm
※躯体からのフェンスの出巾に合わせて切詰めてください。

②切断後、右図の位置に、φ 3.5mm の下孔加工を行ってください。




## 4－2 垂木部品の取付け

①垂木のフェンス側に、パーゴラジョイントを取付けてください。

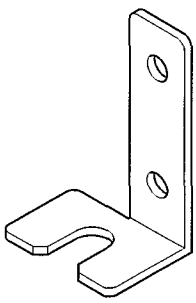



②垂木の躯体側に、垂木受け金具および縦格子キャップを取付けてください。

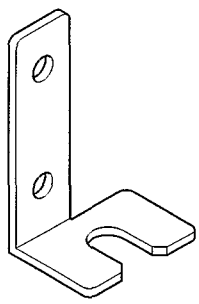
●キャップは、柱および格子から取外したものを使用してください。
●垂木受け金具には左・右の区別があります。

●垂木受け金具

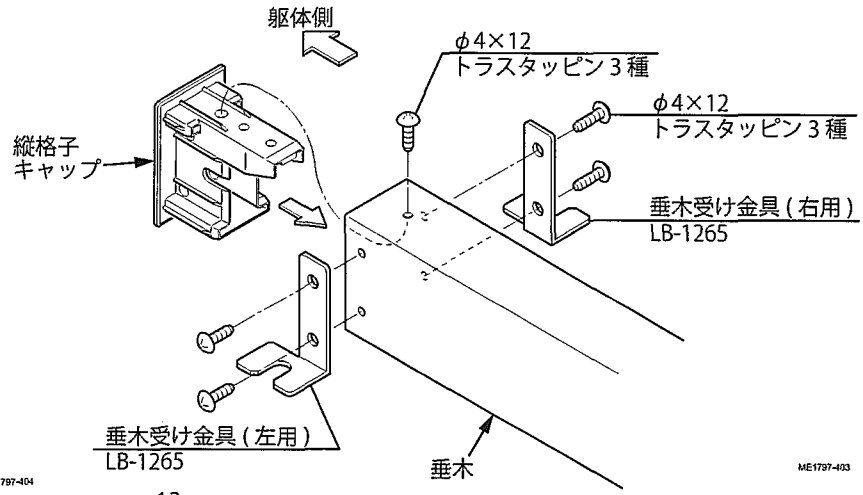
左用



右用



ME1797-404

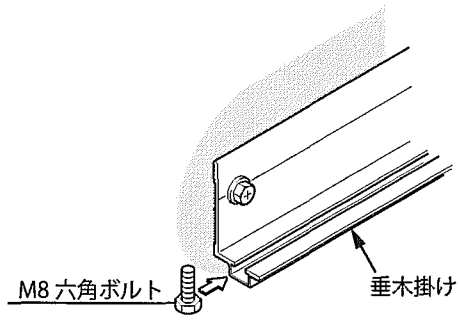


# 4－3 垂木の取付け

## 4-3-1 取付けボルトの挿入

①垂木掛けの溝にボルト頭をスライドさせて挿入してください。

垂木１本につき、２本のボルトを挿入してください。




## 4-3-2 たて格子納まり・DPG 納まりの場合

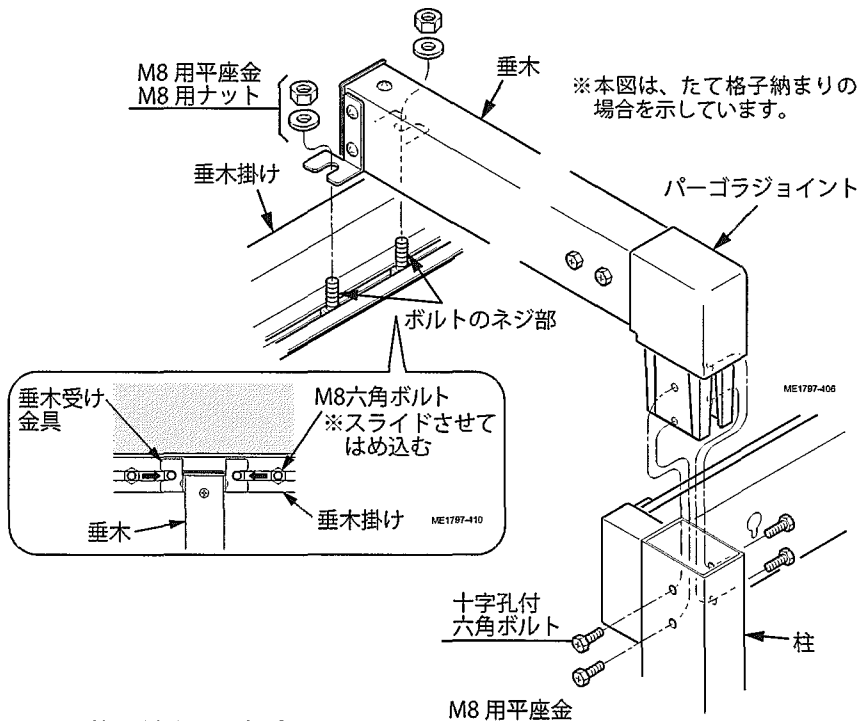
①パーゴラジョイントを、フェンス柱および格子に取付けてください。

全ての格子が取付けられ、格子間のすき間が狭い場合は、ラチェットまたはスパナを使用してボルトを締付けてください。

②垂木を垂木掛けの上に乗せ、「4-3-1」で挿入したボルトをスライドさせて垂木受け金具にはめ込んでください。

③垂木とボルトを、平座金とナットで固定してください。

●たて格子納まり・DPG 納まりの場合



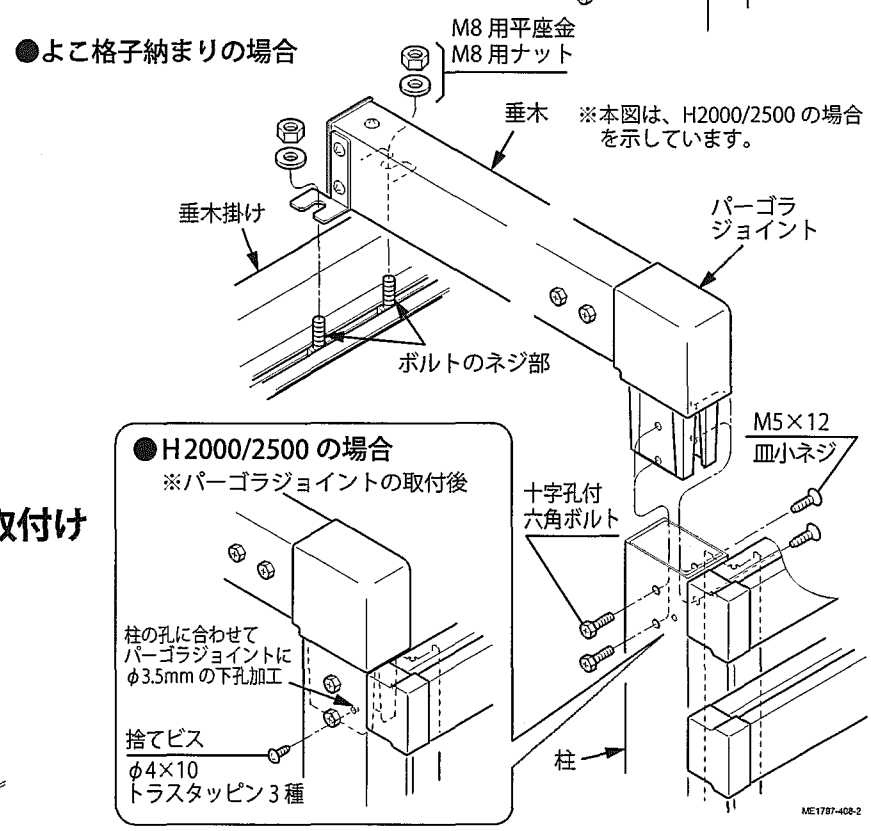

## 4-3-3 よこ格子納まりの場合

①パーゴラジョイントを柱に取付けてください。

②垂木を垂木掛けの上に乗せ、「4-3-1」で挿入したボルトをスライドさせて垂木受け金具にはめ込んでください。

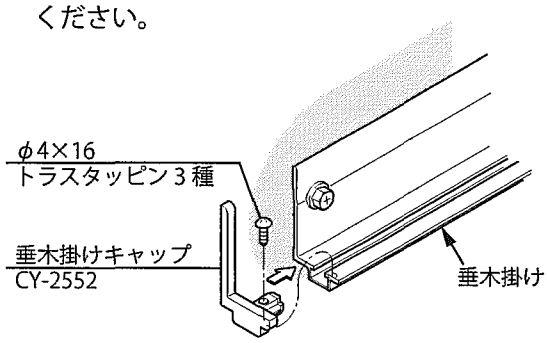
③垂木とボルトを、平座金とナットで固定してください。

●よこ格子納まりの場合




# 4－4 垂木掛けキャップの取付け

①垂木掛けキャップを垂木掛けに取付けてください。

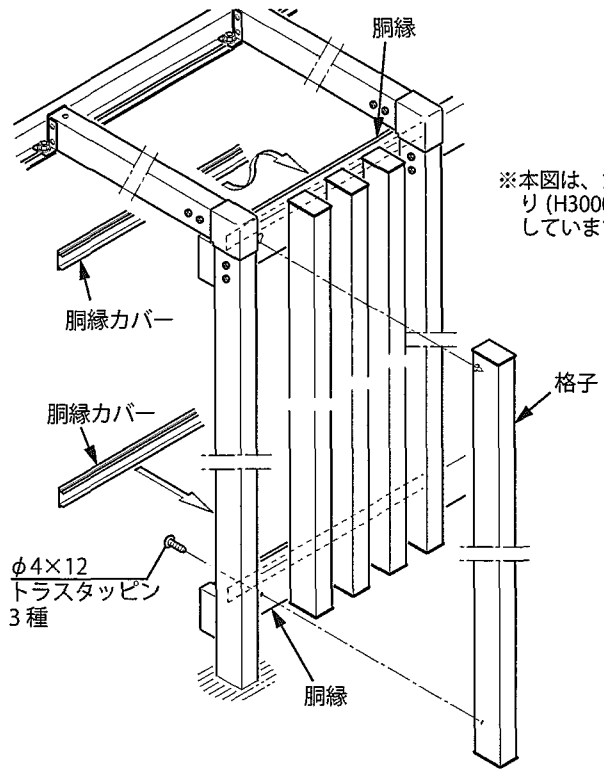


# 5 格子・胴縁・胴縁カバー アタッチメント部品の取付け

●各納まりごとの手順で行ってください。

## 5－1 たて格子納まりの場合

① [ME-1793] を参照して、残りの格子および胴縁カバーを取付けてください。

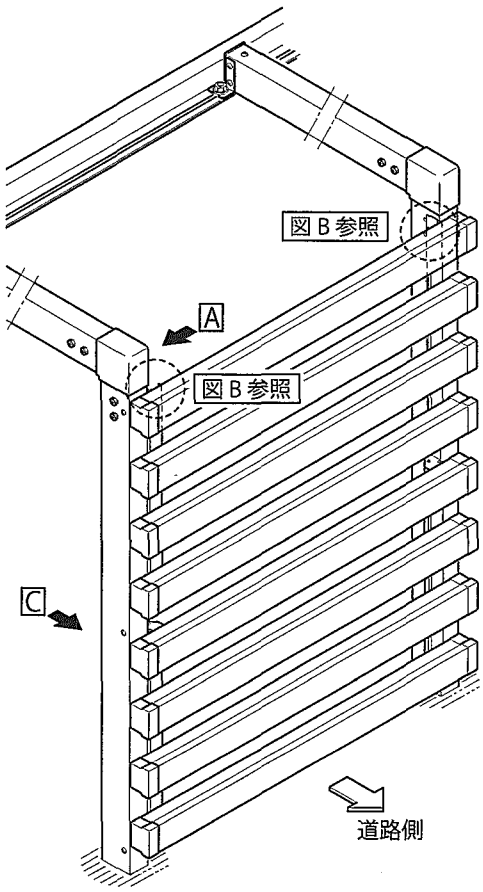



※本図は、たて格子・1段納まり (H3000以下) の場合を示しています。

ME1797-501-1

## 5－2 よこ格子納まりの場合

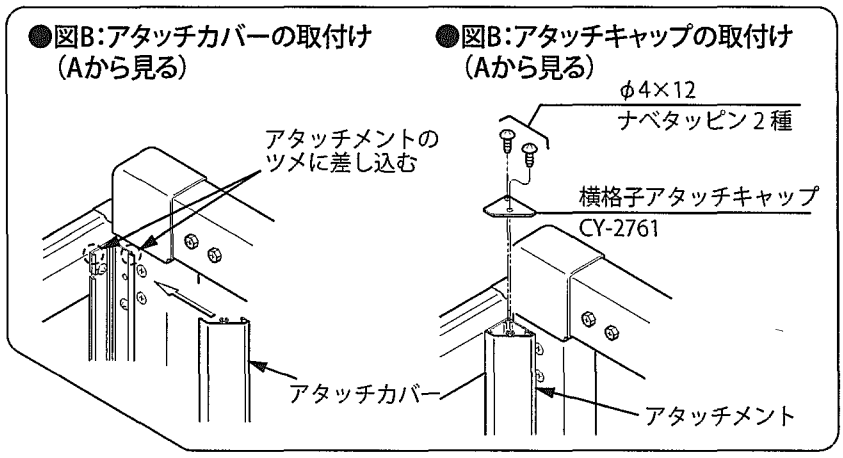
① [ME-1903] および図を参照して、アタッチカバー、アタッチ止め、横格子アタッチキャップを取付けてください。




ME1797-504-2

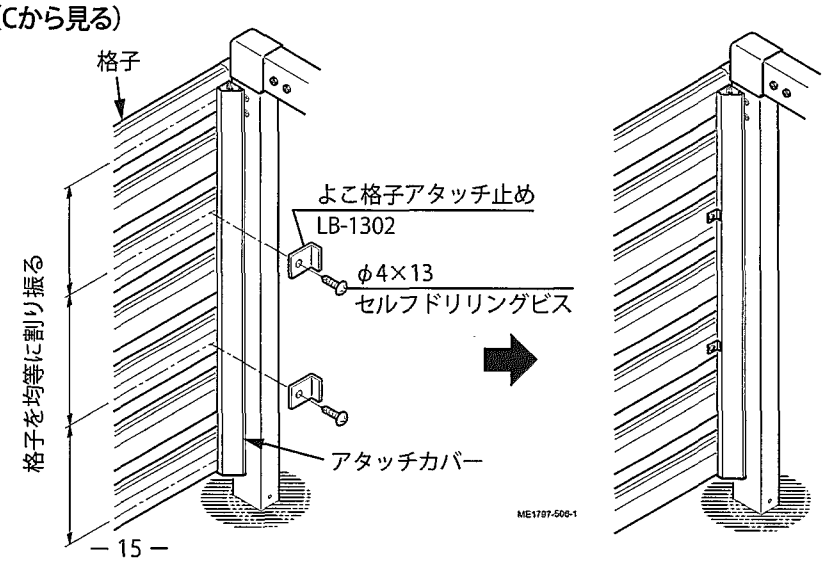
●図B:アタッチカバーの取付け (Aから見る)

●図B:アタッチキャップの取付け (Aから見る)




ME1797-505-1

●アタッチ止めの取付け (Cから見る)

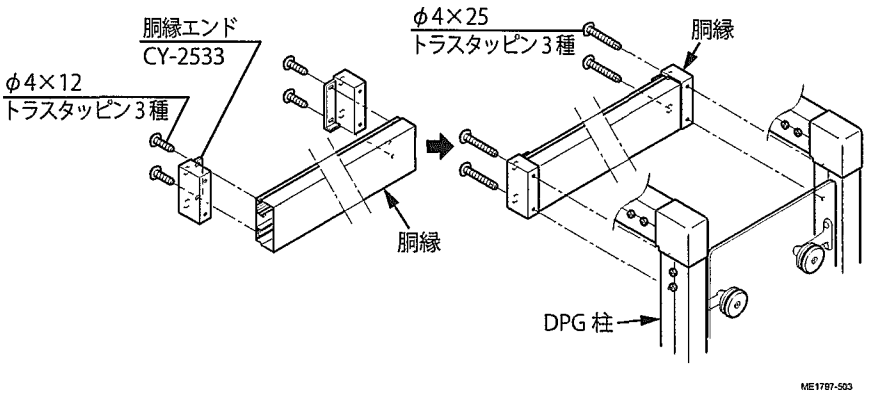



ME1797-506-1

## 5－3 DPGパネル納まりの場合

①胴縁に胴縁エンドを取付けてください。

「フェンススタイル（たて格子）」と連結する場合には、胴縁ジョイント部品を取付けてください。




②胴縁を柱の最上段に取付けてください。

# 施工工事店様、販売店様へのお願い

●「取扱説明書」に基づき（同梱されているもののみ）商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
●この取付説明書は、施工完了後施主様にお渡しください。

| | |
|---|---|
| 施工完了日 | 年　月　日 |
| 施工工事店 | TEL（　　）　- |
| 販売店 | TEL（　　）　- |

商品へのお問合せは・・・

この商品についてのご質問やご相談は下記の窓口にお問い合せください。

お客様相談室
0120-37-2534